

T-771 取扱説明書

T771-z-2104

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃で使用した場合)
(電波時計による時刻修正を行わない場合)
- 表示精度: ±1 秒以内 (電波受信による時刻修正の直後)
- 使用温度範囲: 0 ~ +40℃ ※結露なきこと
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 単 4 形アルカリ乾電池 (LR03 1.5V) 2 個
- 電池寿命: 約 12 ヶ月 (単 4 形アルカリ乾電池 2 個を使用し、1 日に
アラームを 30 秒、自動点灯を 6 時間使用した場合)
- 電波受信: 40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し、
現在時刻に合わせる
●自動受信 (最多 4 回 / 1 日) ●手動受信
- 時刻表示: 12 時間制表示、または 24 時間制表示
- カレンダー表示: 2020 年 1 月 1 日 ~ 2099 年 12 月 31 日 (フルオート)
- 温度計: 表示範囲 -9.9 ~ +50.0℃ ※ -9.9℃より低いと L.L.L.
+50.0℃より高いと H.H.H を表示
精度 ±2℃ (-9.9 ~ +50.0℃の範囲)
- アラーム: 電子音 (2 分間オートストップ)
- スヌーズ: スヌーズ間隔約 5 分
- ライト: 残照機能 (約 5 秒間)
- 自動点灯機能: 光センサーによるライトの自動点灯
- タッチセンサー: 静電容量方式
- ロック機能

電波時計について

電波時計とは
標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは
情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所
は、福島県の「福島局・おたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にあ
る「九州局: はがね山標準電波送信所」の国内 2 か所にあります。
※標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」
によるものです。

標準電波の送信停止について
標準電波は毎時 15 分と 45 分から各 1 分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。
また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波 (送信停止) することがあります。
標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について
本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる
場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場
合があります。あらかじめご了承下さい。

電波の受信範囲について
送信所からおおむね半径 1000km とされています。
※電波を受信できない場合は、
内蔵クォーツの精度で計時します。



電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
 - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
 - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
 - 自動車、電車、飛行機などの中
 - 家電製品や OA 機器、蛍光灯などの照明器具の近く
 - スチール机などの金属製家具の上や近く
 - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作を
行い使用する場所を変更してご使用下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準
時計グループ」を参照して下さい。

情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jjy.nict.go.jp>

温度表示機能について

- 本製品は工業用 (業務用) 計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。温度表示機能は、センサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、ご注意下さい。

誤操作防止ロック機能について

■ロックスイッチを ON の位置にする。



- ロックマーク が点灯し、誤動作防止のため、リセット操作以外の全ての操作が無効になります。
- ※アラームが ON の状態で、ロックスイッチを ON にすると、アラームマーク が消灯し、アラーム設定時刻になってもアラームは鳴りません。
- ※自動点灯機能が ON の状態で、ロックスイッチを ON にすると、自動点灯マーク が消灯し、自動点灯機能は働きません。
- ※ロックマーク の点灯中はタッチセンサーが反応しないため、ライトは点灯しません。
- ※ロックスイッチを ON にしても、電波受信 ON/OFF の設定が ON の場合は、自動受信時間になると、電波受信を行います。

■ロックスイッチを OFF の位置にする。



- ロックマーク が消灯し、全ての操作が有効になります。

自動点灯機能について

■自動点灯スイッチを ON の位置にする。



- 自動点灯マーク が点灯し、明るさを感じる光センサーによって、周囲が暗くなると自動的にライトが点灯します。
- ※日中や夜間の照明時などでも、周囲の明るさが不足していたり、光センサー部が影になっているとライトが点灯する場合があります。

■自動点灯スイッチを OFF の位置にする。



- 自動点灯マーク が消灯し、周囲が暗くてもライトは自動的に点灯しません。

自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

受信の状態について (受信マークの表示例)



点滅中 ■ 受信中 (電波を探している状態) です。



点灯 ■ 受信に成功して時刻 / 日付修正を終了しています。
* 次の受信開始まで点灯し続けます。



消灯 ■ 受信に失敗して終了しています。
* 次の受信開始 (点滅) まで、表示されません。

手動受信について

電波受信が終了 (受信マーク が点灯、または消灯) しているときに WAVE ボタンを 2 秒以上押し続けると「ピッ」と確認音が鳴り、電波受信を開始します。
※電波受信中に受信ボタンを 2 秒以上押し続けると電波受信を終了します。

リセット操作について

電池を電池ホルダからはずした直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作 (誤表示) する場合があります。電池を入れる前に、必ず RESET ボタンを押して下さい。

※RESET ボタンは、先の細い尖っていない棒などで押して下さい。針などの先端の鋭利なものを使用すると、ボタンが破損しますのでご注意ください。

電池の交換について

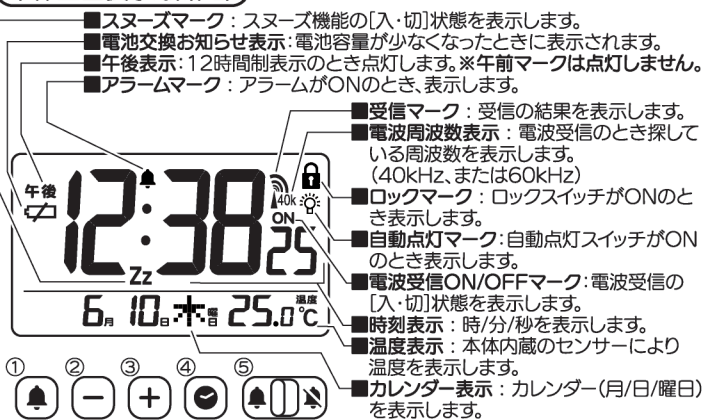
- 電池容量が不足してくると、電池交換お知らせ表示 が点灯します。速やかに同じ種類の新しい電池に 2 個同時に交換して下さい。
- 買い置きした電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により電池寿命が短くなる場合があります。

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 0 ~ +40℃ の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は 5 年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

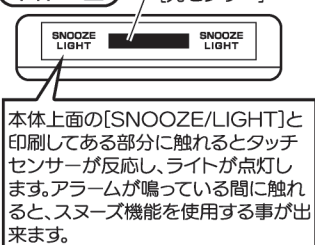
各部の名称

本体正面表示/操作部



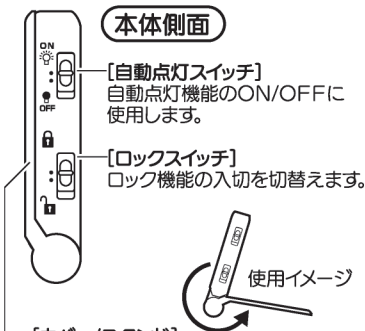
- ① [ALARMボタン] アラーム時刻設定に使用します。
- ② [- (DOWN)ボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を減算します。
- ③ [+ (UP)ボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を加算します。
- ④ [TIMEボタン] 手動時刻設定に使用します。
- ⑤ [アラームスイッチ] アラームの入/切に使用します。

本体上面



本体上面の[SNOOZE/LIGHT]と印刷してある部分に触れるとタッチセンサーが反応し、ライトが点灯します。アラームが鳴っている間に触れると、スヌーズ機能を使用する事が出来ます。

本体側面



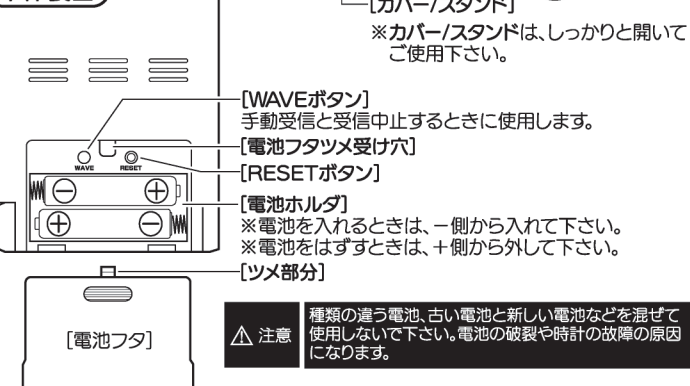
[自動点灯スイッチ] 自動点灯機能のON/OFFに使用します。

[ロックスイッチ] ロック機能の入切を切替えます。



[カバー/スタンド] ※カバー/スタンドは、しっかりと開けてご使用下さい。

本体裏面



[WAVEボタン] 手動受信と受信中止するときに使用します。

[電池フタツメ受け穴]

[RESETボタン]

[電池ホルダ]

※電池を入れるときは、一側から入れて下さい。 ※電池をはずすときは、+側から外して下さい。

[ツメ部分]

▲ 注意 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や時計の故障の原因になります。

ご使用方法

- ①表示ラベルを剥がす。 ※ラベルを剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。
- ②電池フタを開けて単4形乾電池2個を⊕の表示に合わせて入れ、ツメ部分を電池フタツメ受け穴に差し込み電池フタを閉じる。 →電池を入れるとライトが点灯し、「ピピピピ」と確認音が鳴った後、液晶面が表示され、電波の受信を開始します。

※受信中は受信マークが点滅します。
※受信には最長12分かかります。

- ③受信の結果を確認する。本書「受信の状態について」を参照。
●受信に成功すると、受信マークが点灯して自動的に時刻と日付を修正して表示します。
●受信に失敗すると、受信マークは消灯します。時刻・日付は修正されません。

電波受信ができなかった場合は…

- ①手動で時刻を設定し、朝までそのまましておく
本書「手動で時刻を設定する」を参照して、現在時刻に合わせて時刻を設定し、一晩そのままにしておく。
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておく、受信できる可能性が高くなります。
- ②設置場所を変える/受信をやり直す
本書「電波時計について」の「電波を受信しにくい環境」と「手動受信について」を参考に、設置場所を変えて、再度、受信をさせる。
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

アラーム時刻の設定

T771-z-2104

注意

※設定中の点滅は約30秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。
※アラームがONの状態、ロックスイッチをONにすると、アラームマークが消灯し、アラーム設定時刻になってもアラームは鳴りません。

- ①通常時刻表示のときに、ALARMボタンを2秒以上押し続けると、「ピッ」と確認音が鳴る。 →アラーム時刻設定モードに入り、[時]部分が点滅します。
 - ②+ (UP)ボタン、- (DOWN)ボタンを押して[時]を設定する。
 - ③[時]の設定が終了したら、ALARMボタンを押す。 →[分]部分が点滅します。
 - ④+ (UP)ボタン、- (DOWN)ボタンを押して[分]を設定する。
 - ⑤[分]の設定が終了したら、ALARMボタンを押す。 →通常時刻が表示されて設定が完了します。
- ※アラームマークが点灯していない場合、アラームは鳴りません。本書「アラーム機能の使い方」を参照。
※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。
※[午前]と[午後]を間違えないように注意して下さい。
※通常時刻表示のときに、ALARMボタンを1回押すと、アラーム設定時刻が約3秒間表示し、通常時刻表示に戻ります。



アラーム機能の使い方

- アラームを鳴らす
アラームスイッチをONの位置にする。→アラームマークが点灯し、設定した時刻になるとアラームが鳴ります。アラームは鳴り始めから約2分後に自動的に止まります。
- アラームを止める
アラームスイッチをOFFの位置にする。→アラームマークが消灯し、いずれかのボタンを押す。→アラームが鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※アラームマークは点灯したままです。
- なにもしない。(オートストップ機能)
→アラームは鳴り出しから約2分で自動的に鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※アラームマークは点灯したままです。

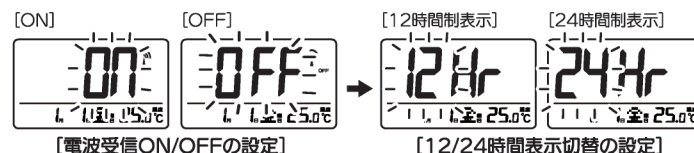
止めてもまた鳴るスヌーズ機能とライト機能

- アラームが鳴っている間に本体上面のSNOOZE/LIGHTと印刷してある部分に触れると、アラームが一旦鳴り止まり、約5分後に再び鳴り出します。
※スヌーズ機能中は、スヌーズマークZzが点滅します。
※アラームが再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをOFFの位置にしてアラームマークを消灯させます。
※スヌーズ機能は、最大8回繰り返し使うことが出来ます。
※スヌーズ機能が動いている間にいずれかのボタンを押すと、スヌーズ機能が解除され、スヌーズマークZzが消灯します。
- 本体上面のSNOOZE/LIGHTと印刷してある部分に触れると、ライトが約5秒間点灯します。

手動で時刻を設定する

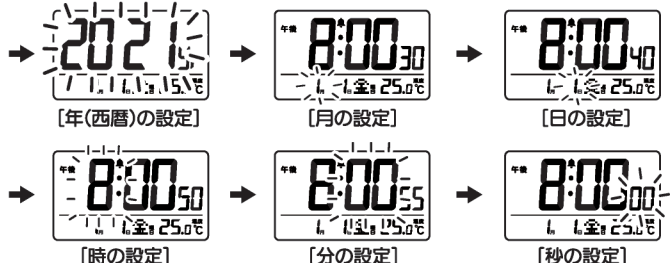
- 注意 ※電波受信中(受信マークの点滅中)に手動による時刻設定を行うと、電波の受信がキャンセルされます。
※設定中の点滅は約30秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。

- ①通常時刻表示のときに、TIMEボタンを2秒以上押し続けると、「ピッ」と確認音が鳴る。 →時刻設定モードに入り[電波受信ON/OFF]設定画面が表示し点滅します。
- ②+ (UP)ボタン、- (DOWN)ボタンを押して[電波受信ON/OFF]を設定する。
※電波受信をOFFに設定すると、自動電波受信は行わず、手動受信もできなくなります。
- ③TIMEボタンを押すごとに[電波受信ON/OFF]→[12/24時間表示切替]→[年(西暦)]→[月]→[日]→[時]→[分]→[秒]が点滅するので、+(UP)ボタン、-(DOWN)ボタンを押してそれぞれを設定する。
※[秒]は、+(UP)ボタン、-(DOWN)ボタンを押すごとに00秒に設定されます。
- ④[分]の設定が終了したら時刻ボタンを押す。 →点滅が終了し、設定された時刻と日付が表示されて、時刻・日付設定が完了します。



【電波受信ON/OFFの設定】

【12/24時間表示切替の設定】



【年(西暦)の設定】

【月の設定】

【日の設定】

【時の設定】

【分の設定】

【秒の設定】